

目次

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	凡	はしがき
……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	例	……
一五	一四	一四	一三	一三	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇		
	る	り		み	ひ	に	ち	し	き	い		
	……	……		……	……	……	……	……	……	……		
	一四	一四		一六	一四	一三	一三	一四	一四	一六		
			る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
			……	……	……	……	……	……	……	……	……	
			一四	一三	一〇	一七	一五	一四	一六	一七	一四	
	ゑ	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え		
	……	……		……	……	……	……	……	……	……		
	一四	一四		一三	一九	一〇	一七	一三	一〇	一六		
			を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……	……
	一四	一四	一五	一三	一三	一〇	一六	一〇	一七	一三	一五	一六
												一七

あしあど(足跡) 三〇〇⑬
あしずり・す(足摺りす)
—し(用) 三三②
あしもと(足元) 三九五④
あす(明日) 三〇〇⑧ 三二二⑮ 二四四④(本文
「明日」とあり「みゃうにち」と読む
べきかも) 三五〇⑩⑮
あそこ(彼処) 二四六①⑦ 二六二⑬ 二九三⑩
あそば・す(遊ばす)
—さ(末) 一九九⑨ 二六六⑨ 二七三⑨
—い(用) 三三六⑬ 二六二⑮ 二六九⑪
—す(止) 一九二⑫ 二六五⑦
—す(体) 二四四① 二五六④
—せ(命) 一九二⑫ 一九六⑧ 二〇九⑩
あそ・ぶ(遊ぶ)
—び(用) 一七六⑪(—びにまいつたれば)
三三⑭
あたひ(値) 一七五⑤ 二二⑦
あたま(頭) 二三四④
あたり(辺り) 一七三⑤ 一七六② 一八四② 二二②
一七〇② 一七三⑤ 一七六② 一八四② 二二②

一六二⑩ 二四四② 三三三② 三三六
② 三三六④⑬ 三三〇②⑦ 三三二② 三三五②
⑦ 三三六② 二七〇⑩ 二七三③④ 二八三⑭
三九二⑦
↓しでうあたり・となりあたり
あた・る(当たる)
—ら(末) 一七四②
—り(用) 二六〇⑦
—つ(用) 二七四⑧
↓おもひあたる
あち(彼方) 一八九⑦ 三六⑰ 二四三⑫
あぢきな・し(形ク活)
—語幹(三三⑩)―さうに(二四四⑦)―
や(三九七⑦)―の身(二四四⑦)―
あつ(感動) 一〇〇⑨ 一五二② 一五四⑥⑦⑧
二〇六⑫ 二四七⑥
あつあつ(感動) 一六二⑫ 一七六⑥
あつか・ぶ(扱ふ)
—は(末) 一九六⑥
—う(用) 一九〇⑩
あつたら(可惜) 一九九⑫
あつは(感動) 一七三⑩
あつま(東) 二〇八② 二七⑭
あつまか(み)東鑑(三三六⑮)
あつ・む(集む) ↓かきあつむ・とりあつ

あつらへ(誂へ) 二八六⑨
あと(後・跡) 一四四⑩ 一六九⑨ 一七六⑥ 一六
⑨ 一七七⑰ 一八五② 二〇〇⑬ 二一八①
三三⑬⑭ 三三三② 三三三③ 三三六④⑬
二四七④⑨⑭(本文「後」とあり「のち」
と読むべきかも) 二四八① 二五〇① 二七三
⑧ 二七五④ 二七七① 二八⑫ 二九四⑰
↓あしあど・なきあと・のち
あなた(彼方) 一七三⑦ 三三六③ 三三五⑬ 二七
⑤ 二九⑦
あなたこなた(彼方此方) 一六四⑧ 一六五⑤
二四⑭
あなづ・る(侮る)
—ら(末) 二〇②
—つ(用) 二四六③
あの(彼の)連体 一六三③ 一七④ 一七六⑫
一七⑬ 一八⑧ 一八五⑪ 一八六⑥⑧⑪⑬
一八七④⑤⑦ 一八六⑥⑧ 一八九⑩ 一九三⑭
一九五⑤ 一九五⑤⑩ 一九三③⑨ 二〇五⑫⑬⑮
二二② 三三③ 三三⑥ 三三⑮ 二〇①②⑦
二四⑩⑪ 二四⑬⑮ 二五⑫⑬⑮ 三五①
① 二六⑩ 二六⑰(―おしやるやうに
めされひ)⑧ 二六九⑮ 二七六⑨ 二八四⑨⑪

三九七④ 三九①
あほう(阿呆) 三五六⑮
あは・す(合はす) ↓ひきあはす・まちは
はす・みあはす
あはれ・なり(哀れなり)
—な(体) 三〇四①
あひしらひ(名) 一五八⑭
あひす・む(相済む)
—み(用) 三〇⑤
あひだ(間)(名)(全例「間」と漢字表記)
一四⑤ 一八③ 二〇⑨ 三〇② 二六⑭
三〇④ 三三⑧ 三五⑦⑨⑩
↓このあひだ・ま
あひだ(間)(接続助詞の用法) 一六⑮ 一七
④ 三〇⑪ 三〇⑤ 三三⑭ 三三③
三三⑤ 三三⑮ 二七⑥ 二八⑧ 二七⑦
三六⑭
あひたけ(合竹) 三〇⑫(本文「ぼうしが
は、にあひたけの」とあり「会ふ」と
言いかける)
あひたさ(会ひたさ) 三六⑬
あひて(相手) 三三②
あひむか・ぶ(相向かふ)
—う(用) 三三②⑭
あ・ぶ(合ふ) ↓いひあふ・つかみあふ・
あしあど―あめつち

よりあふ
あ・ぶ(会ふ)
—は(末) 一七五② 二七⑪⑫ 三三⑬ 三九
⑬ 三六⑮⑯ 三六②⑤
—ひ(用) 一七四④(―ひもせぬ) 一九五③
三六⑧⑧ 三六③④ 三九②(―ひもみも
せて)
—う(用) 一四⑥ 二四⑦ 二六④ 二六⑰
二五② 二六① 二九②
—ふ(体) 三九④ 三三⑥⑪ 二五② 三三
⑮ 三六⑧
↓かへりあふ・であふ・まわりあふ・め
ぐりあふ
あ・ぶ(敢ふ) ↓とりあふ
あぶ(阿武)(地名) 二四①(本文「うつつに
あぶの松原」とあり「会ふ」と言いか
ける)
あぶぎ(扇) 一五⑭ 一六⑮⑯ 一六④ 一六
⑦ 一八九① 二七⑮⑯ 三三⑫ 三三③
三七⑬ 三九⑧ 三六⑬
↓さしあぶぎ
あぶな・し(危し)
—い(体) 二四⑨ 二五②②
あぶみ(鏡) ↓むさしあぶみ
あぶみだう(未詳。「大御堂」か) 一八⑬

あまがた(尼方) 三六⑯⑰
あまさかさま・なり(天逆様なり)
—な(体) 三六⑭
あま・し(甘し)
—う(用) 三三⑫ 三三②
あまた(数多) 二四⑥
あまのいのち(天の命) 一五②
あまのれうぐわん(阿間了観) 二六③
あまやか・す(甘やかす)
—い(用) 二〇②
—す(体) 二二⑩ 二七⑬
あまり(余り)(名) 三五①(枕―にとこひ
ろし) 三三⑦(醉狂の―なり)
あまり(余り)(副) 一八⑭ 三〇⑪ 三三①
二四④ 二四⑧
あま・る(余る)
—り(用) 三三②(身に―りたる)
—つ(用) 二七⑥(身に―つて)
あみがさ(編笠) 三三⑩
あめ(雨) 三三②④ 三六⑭
あめ(飴) 三三③
あめつち(天地) 二八⑧